

平成28年度 社会科の推進プラン

＜昨年度の授業改善推進プランの検証＞			
★取り組みにおける成果と課題			
・3年生:グラフ・資料の読み取りにおいて定着がみられた。2年生の頃の二極化分布の傾向も薄れてきている。			
・2年生:知識に関して課題があった。昨年度に引き続き技能や思考については能力の定着があった。			
・1年生:地図や年表、資料集などを活用して、知識理解の力をつけていく努力をしたが効果は不十分であった。			
＜社会の内容別結果の分析＞			
内容	1年生	2年生	3年生
地理的分野	○工業に関する問題では正答率が高い。 ○国土を構成する周囲の様子が理解できていない。	○重要語句の定着には一定の成果がみられた。 ○文章で表現する能力を問う問題では、区の目標値を上回る事ができた。	○時差を求めるものや工業の様子を読み取るなどの問題では、校内の正答率が区の目標値を上回った。 ○地理的な事象を比較・関連付ける問題では課題となっている。
歴史的分野	○資料を読み取り関連付ける問題での正答率が低い。 ○戦国から江戸幕府成立にかけては正答率が高い。	○時代が遡るごとに正答率が低くなっていく。 ○資料を活用し表現する能力には定着がみられた。	○資料から読み取り文章で表現する問題では、目標値を上回ることができた。 ○歴史的な事象についての基礎的な知識については定着がみられるが、知識の背景や意図を踏まえて理解を深める必要がある。

＜社会科の観点別結果の分析＞

観点	1年生	2年生	3年生
関心・意欲・態度	○学習効果測定では関心が低いとの結果が出ている。	○日頃の授業から社会的な事象に触れさ、意欲を高める。	○教材・教具の工夫を行い学習意欲を向上させる。
判断・思考・表現	○事象に関する理由の説明をすることが苦手である。	○校内正答率が区の目標値を上回る結果となった問題が多かった。	○知識の理解だけでなく、資料の読み取りなどから考えて表現する力が付いている。
資料活用の技能	○歴史的分野では資料を読み取り知識と結びつけることが苦手である。 ○地理的分野のグラフ等の資料は読み取りができています。	○資料の活用や読み取りでの定着がみられる。	○資料を読み取り、出題の意図をくみ取れるようになっている。出題の意図を理解して上で解答する力が不十分であった。
知識・理解	○知識の定着が低く、時代ごとの特色や地域ごとの特色を大観することができていない。	○学習内容の定着が薄れている結果になった。	○知識の理解には定着がみられ、単に語句を答える問題では正答率が高い。しかし、その背景や要因、意図までの理解に至っていない。

＜社会科の課題と具体的な授業の改善策＞

学年	課題	具体的な授業改善策
1年	○知識の定着が低く、時代ごとの特色や地域ごとの特色を大観することができていない。	○知識の定着のための確認テストを回数を増やして実施する。
2年	○知識・理解に不十分な点がみられた。	○異なる単元の学習においても以前の学習した内容の確認を取り入れ知識の定着を行う。
3年	○基本的事項の定着を続けながら、思考力を向上させる。	○時代ごとや地域ごとの特色を理解した上で比較・関連づけさせる活動を取り入れる。 ○知識の定着のみでなく、背景の理解から進めて流れを理解させるようにする。